

もも・ネクタリン特報



【せん孔細菌病対策 収穫後の薬剤散布】 収穫中の作物、隣接園への飛散（農薬汚れ）に注意

- *せん孔細菌病発生園は、ボルドー 3 回散布を徹底し、散布間隔は 1 4 日以内を厳守する。
- *台風襲来等の風雨が予想される前日までに散布を実施する。
- *薬剤が樹全体に到達するように、散布前に徒長枝切りを実施する。

散布時期 散布品種	第1回 ボルドー散布	第2回 ボルドー散布	第3回 ボルドー散布
・早生種～中生種 ・晩生種(川白、黄金桃など)	収穫終了後(9月上旬～中旬)	第1回散布から 10～14日後	第2回散布から 10～14日後
・極晩生種(白根白桃など)	収穫終了後(9月中下旬～)	第1回散布から 10～14日後	第2回散布から 10～14日後



収穫終了後。下記のいずれかを選択して散布下さい。

ボルドー体系

コサイド 3000 体系

散布量：10a 当り 600^{リツ}_{トル}

*薬害の発生が心配される場合は、クレフノンを加用する
(ただし、汚れに注意)

②コスカシバの発生園は、落葉後に劇ラビキラー乳剤 200 倍（休眠期・1 回）を樹幹および主枝に十分に散布する。

散布量

次頁もご覧ください

ボルドー体系

コサイド 3000 体系

散布時期：9月上旬～（収穫終了後）	散布時期：9月上旬～（収穫終了後）
散布薬剤：水100 ^{リットル}	散布薬剤：水100 ^{リットル}
アビオンE（固着性展着剤）100ml	アビオンE（固着性展着剤）100ml
I C ボルドー4123.3kg	コサイド300050g
劇 [Ⓔ] ダイアジノン水和剤34（21日前、3回）100g	劇 [Ⓔ] ダイアジノン水和剤34100g
対象病害虫：せん孔細菌病、シンクイムシ類、ハマキムシ類、クワコナカイガラムシ若齢幼虫	対象病害虫：せん孔細菌病、シンクイムシ類、ハマキムシ類、クワコナカイガラムシ若齢幼虫
散布量：10a当り600 ^{リットル}	散布量：10a当り600 ^{リットル}
	*コサイド3000に代えて、ムッシュボルドーDFの500倍を使用してもよい。
	*薬害の発生が心配される場合は、クレフノンを加用する（ただし、汚れに注意）

【注意事項】
アビオンEに代えて、KKステッカーの3000倍でもよい。
*KKステッカーは調合液をよく攪拌させながら必ず最後に加用する。
①台風等で強風・降雨が予想される場合は、風雨前の予防散布を徹底する。
②コスカシバの発生園は、フェニックスフロアブルの500倍（開花期まで・1回）を樹幹および主枝にていねいに散布する。

毒物・劇物をご購入の際は、印鑑をご持参ください

●極晩生種 収穫開始予想

園地条件・樹勢により前後しますので、下表を参考に、果実の状況を見て収穫適期を判断しましょう

品 種	南部地区	北部地区
幸茜	9／1～	9／3
さくら白桃	9／5～	9／7
黄貴妃（無着色）	9／3～	9／5
選抜白根白桃（岩戸系）	9／4～	9／6
在来系白根白桃	9／8～	9／10
ゴールデンピーチ	9／13～	9／15
秀峰（ネクタリン）	9／2～	9／4

*除袋は収穫14日前までに終了しましょう。

●今後、収穫を迎える品種で灰星病の発生が心配される場合は、殺菌剤の特別散布を実施しましょう。
（薬剤の選択は、もも・ネクタリン特報No.9の次頁を参照ください）